

久山町当初予算

3つの柱の主な事業



新型コロナウイルス感染症予防対策

新型コロナウイルスワクチン接種事業	4,297万円	診療所での個別接種、C&Cセンターでの集団接種を効率的に行い、町民の皆さまの日常を早期に取り戻せるよう努めます。
SNSアプリ・地上デジタルデータ放送を活用した情報発信事業	110万円	ワクチン接種・健康情報・防災情報などの情報発信をリアルタイムに行い、幅広いニーズに対応できるよう情報発信強化を図ります。



経済支援

プレミアム付き商品券発行事業	665万円	アフターコロナを見据え、プレミアム率20%の商品券を7000冊発行し、町内の商工支援と経済循環を図ります。
----------------	-------	---



新たな投資サービス

一般不妊治療支援事業	50万円	医療保険適用外の一般不妊治療に要した費用の一部を、一夫婦5万円を上限に助成します。
防犯灯設置事業	100万円	猪野から山田小学校間の通学路の一部に防犯灯を設置し、登下校時の子どもたちの安全確保に努めます。
中学生リーダー育成プログラム事業	12万円	将来の課題を解決できる「未来のリーダー」育成事業を行います。
身近な公園整備事業	600万円	安心して子育てができるよう遊具がある公園を草場地区に整備します。

その他の主な事業

グローバル人材育成事業	1,923万円	ふるさと久山に愛着を持ち、グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、ALT(外国人講師)雇用・派遣事業、海外語学留学助成事業、中学校放課後英語塾などを株式会社 久原本家グループ本社と共同で行います。
ICTを活用した教育事業	840万円	ICTを活用し、子ども一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供します。

高収益作物生産支援事業、生活習慣病予防健診事業、総合運動公園整備事業、久山中学校特別教室棟改修事業、山田小学校図書室等LED化事業、公共交通計画策定事業(買物支援などを含む新たな交通体系の検討)なども行います。

久山町長として、初めての新年度を迎え、改めて身の引き締まる思いでございます。

昨年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の影響により、町民の皆さまには、さまざまな場面において、辛く、苦しい1年でした。そのような状況下でも、子どもたちをはじめ町民の皆さまの「今できることを懸命に考え行動する姿」に何度も励まされ、奮起させられました。

そのような状況を踏まえて、今年度は「Withコロナ、Afterコロナに対応した新たなまちづくり」を目標に掲げ、「新型コロナウイルス感染症予防対策」「経済支援」「新たな投資サービス」を3つの柱として、予算編成を行いました。

これから数年は、新型コロナウイルス感染症対策を優先的に取り組む時期と見定め、目の前にある課題に対応しながらも、これまでの取り組みにさらに磨きをかけ、未来への投資を展開していきます。

最後に、私たちは少しずつですが前に進んでいます。私自身もこの困難を極める時代を乗り越え、町民の皆さまが久山の未来に希望を抱ける明るい1年となるよう、まい進してまいります。

久山町長 西村 勝



With コロナ、After コロナに対応した新たなまちづくり

3つの柱

新型コロナウイルス感染症予防対策



経済支援



新たな投資サービス

